

質問要旨 チームオレンジ設置に向けた、具体的な計画はどうか。

答弁要旨

チームオレンジ設置に向けては、認知症サポーターのうち、認知症の方やそのご家族への支援ボランティアへ積極的に参加頂ける方を対象に、第1回「ステップアップ講座」を令和3年10月19日に開催し、認知症ご本人も交えて、活動内容の意見交換を始めました。

今年度は、ステップアップ講座受講者を中心にチームオレンジを1チーム設置し、市内全域を対象としたモデル事業として認知症カフェ等を立上げ、その中で、「本人の居場所づくり」や、「家族への相談支援」、「認知症予防の学び」の取組を実施してまいります。

また、今年度は、1つのチームで活動することとしておりますが、メンバー数の増加や活動状況等により、拠点を設けた複数チームでの活動も想定されることから、引き続き、意見交換をする中で、柔軟に対応していきたいと考えております。

以上

質問要旨 市内の認知症サポーターが情報を得られるよう、市から認知症サポーターへ発信する仕組みづくりをしてはどうか。

答弁要旨

本市では、広く認知症サポーターを養成しておりますが、これまで受講者の住所やメールアドレスなどを把握していないことから、認知症サポーターへの個別の情報発信を行っていません。

今後は、現在実施している市報やホームページでの案内の他、尼崎市地域情報共有サイト「あましえあ」や「シニア元気アップパンフレット」等においても、情報発信を行う予定としております。

更には、ステップアップ講座の開催やチームオレンジの設置など、認知症サポーターが活動できる場の増加を~~進めたい~~進めたいことから、認知症サポーター養成講座受講者のうち、希望者に対しまして、チームオレンジの活動状況や認知症サポーターの活躍の場所などについて、個別に案内する手法を検討していきたいと考えております。

以上

質問要旨 認知症サポーターの属性(年代・行政区ごと
の人数・職業割合)はどうか。

答弁要旨

本市では、認知症サポーターの養成を市内全域で出前講座や職域研修などを含めて幅広く実施するとともに、より多くの方の受講を促すため、詳細な属性を確認していませんが、国の報告に必要な受講時の年代や講座種別については把握しております。

受講時の年代の割合につきましては、令和3年9月末現在で、30歳以下が23.8%、40～60歳代が48.5%、70歳代以上が27.6%となっております。

また、講座種別としては、出前講座などの市民向け講座が57.8%、企業・職域での講座が23.1%、学校での講座が9.1%となっております。

以上

池田議員 1004-1 作成部局 こども青少年局 No.1

質問要旨 過去10年間市内保育園で誤嚥事故は報告されているのか。事故が報告されている場合、その防止策は何か。

答弁要旨

市内保育施設での誤嚥事故について、承知している過去7年程度は報告を受けておりません。

以上

(東教育次長答弁)

池田議員 1004-2 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 過去10年、市内保育園・幼稚園で報告されている誤嚥事故数について、事故が報告されている場合の防止策について教えてほしい。

答弁要旨

尼崎市立幼稚園においては、過去10年間に於いて報告を受けた誤嚥事故はありません。

なお、市立幼稚園では、養護教諭の指導の下、誤嚥事故防止に向けた保護者への注意喚起を徹底しているところでございます。

尼崎市の私立幼稚園につきましては、重大事故の報告を所掌する兵庫県担当課に確認いたしましたところ、過去10年間に於いて報告を受けた誤嚥事故はありませんでした。

以上

質問要旨 保育園の給食において、過去誤嚥事故の原因となった食品を提供しないようにしているのか。

答弁要旨

公立保育所の給食においては、内閣府発出の「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」等を受け、過去に他の自治体で誤嚥・窒息などの事故が起きたプチトマト、乾いたナッツ、節分豆、大粒のブドウ等につきましては、給食での提供はしていません。

法人保育施設につきましては、公立保育所の献立を参考に実施している施設もございますが、保育園毎の詳細については、把握していません。

なお、食品や玩具等による園児の誤嚥・誤飲事故防止のための国からの通知につきましては、法人保育施設に対し適宜発信するとともに、指導監査における実地での検査時や、小規模保育事業所及び認可外保育施設への巡回支援時に注意喚起を行うなど、啓発に努めております。

以上

(東教育次長答弁)

池田議員 1005-2 作成部局 教育委員会事務局 No. 1

質問要旨 保育園・幼稚園の給食において、過去誤嚥事故の原因となった食品を提供しないなどされているのか。

答弁要旨

尼崎市立幼稚園では、給食の実施はありません。

尼崎市の私立幼稚園では、給食を実施しておりますが、過去誤嚥事故の原因となった食品の提供の有無について把握しておりません。

以 上

質問要旨 節分の豆まき、新年の餅つき大会を予定し、その後、豆と餅を試食させる市内の保育所の数はいくつあるか。

答弁要旨

公立保育所における節分の豆まき後の試食につきましては、国の通知に従い実施する予定はなく、新年の餅つき大会につきましても、腸管出血性大腸菌O157の感染症対策の観点から実施しておらず、今後につきましても予定はございません。

また、法人保育施設における節分の豆まきや新年の餅つき大会といった、各種行事ごとの実施状況や詳細につきましては、把握しておりません。

以上

(東教育次長答弁)

池田議員 1006-2 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 節分の豆まき、新年の餅つき大会を予定されている市内の幼稚園、保育所の数、その後豆と餅を試食されている園の数について教えてほしい。

答弁要旨

尼崎市立幼稚園では、全9園中8園で節分の豆まきの実施を予定しておりますが、豆の試食の実施を予定している園はございません。

なお、新年の餅つき大会につきましては、実施の予定はありません。

尼崎市の私立幼稚園における実施予定は把握しておりません。

以上

質問要旨 市民意見聴取プロセスとして行うタウンミーティング等について、共通した呼び方をつけ、わかりやすくしてはどうか。

答弁要旨

市民意見聴取プロセスの対象となる各事案については、影響を受ける^{対象になる方}や、影響の及び方が異なるなど、その特性が多岐に渡ることから、市民意向調査についても多様な手法で行われているところでございます。

これまでの実績を振り返りますと、より市民生活に直結する事案において意見の件数が多いことから、事案の内容につきましても、市民の皆さまが「何についての調査か」をイメージしやすいよう、わかりやすい情報発信に努めているところでございます。

一方で、議員ご指摘のとおり、この取組そのものが「市民の皆さまのご意見を市政に反映させるためのものである」ことについて、よりわかりやすくお伝えする必要があると考えており、今後一層、市民の皆さまが市政に参画しやすいよう、検討を進めて参ります。

以上

質問要旨 市民意見聴取プロセスを行うことを、わかりやすく伝える、汎用的なチラシ等を作成し、市の関連施設への掲示やSNSでの告知をしてはどうか。

答弁要旨

市民意見聴取プロセスの実施に当たりましては、全ての事案において、その旨を市報で公表するとともに、市ホームページや各地域振興センターを始めとする施設に^{関係}関係資料を設置し、広く周知を図っているところでございます。

その他の周知方法については、先ほどご答弁申し上げましたとおり、対象事案の特性が多岐に渡るため、チラシやSNS等を含む様々な手法から、事案の特性に応じて、各所管課^{の判断で}実施しているものでございます。

こうしたことから、汎用的なチラシ等の設置は検討しておりませんが、より多くの市民の皆さまに市民意見聴取プロセスへのご参加をいただけるよう、引き続き各事案において効果的な周知に努めて参ります。

以上

(東教育次長答弁)

池田議員 2001 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 本市における小学校の性教育の見解はいか
がか。

答弁要旨

小学校における性教育につきましては、学習指導要領に基づき、児童が性に関して正しく理解し、適切に行動を取れるようにすることを目的に実施されており、生活科、体育科、理科等の授業をはじめ、学校教育活動全体を通じて指導しております。

また、指導する際には、児童の発達段階を踏まえ、「学校全体で共通理解を図ること」、また、「家庭との連携を推進し保護者の理解を得ること」、「集団指導と個別指導の連携を密にして行うこと」に留意しながら行っております。

(次ページへ続く)

さらに今後は、学習指導要領の内容に加え、文科省が「生命の安全教育」で示している「水着で隠れる部分等のプライベートゾーン」、「SNS を使うときに気を付けること」や、「性的マイノリティ」等といった性に関する学習を、発達段階に応じて児童が幅広く学習できるよう、自他ともに大切にする人権教育の一環として進めてまいります。

以上

(理事答弁)

池田議員 2002 作成部局 こども青少年局 No.1

質問要旨 6月の性教育研修の開催前後で、職員の意識がどのように変わったか。

答弁要旨

6月に実施した研修では、日本における性暴力・性被害の現状や、性教育に関する世界の状況、子どもを取り巻く性の環境等についてご講演いただき、本市職員及び学校現場の教員等から42名の参加がございました。

研修後の意識調査は行っていませんが、この研修をきっかけに性教育についての議論が進み、本市においてセクシャリティ教育に関するガイドライン策定のための会議体が設置されたほか、水堂小学校での性教育トイレトイレットペーパー設置につながるなど、職員・教員にとって、性教育の重要性が改めて認識される機会になったと考えております。

以上

(理事答弁)

池田議員 2003 作成部局 こども青少年局 No.1

質問要旨 性教育トイレトペーパーに対して、保護者などからの意見は。

答弁要旨

トイレトペーパーの設置に際し、事前に学校が PTA との意見交換を行ったほか、設置後には保護者向けに、設置の目的や趣旨についての説明会も開催いたしました。

これまでに学校にいただいたご意見を確認しましたところ、保護者からは「こうした取り組みは重要で、今後も進めていくべき」「性被害に遭った場合の対応がわかり、とても良い」「自分が子どもの頃にもあればよかった」などのご意見があったとのことでございます。

以上

質問要旨 一時保護所や児童養護施設等で暮らす子どもの数、里親の委託率、里親登録件数、里親と暮らす子どもの数はどうなっているのか。

答弁要旨

議員ご質問の数値について、現在、これらの業務を担っている兵庫県に確認しましたところ、一時保護中の本市児童は令和3年12月8日午後0時現在で34人のことでした。

また、児童養護施設等で暮らす子どもの数及び里親の委託率、里親に委託中の尼崎市の児童数については、市町別の人数は公表していないとの理由により、お答えいただくことができませんでした。

なお、令和3年11月末時点における尼崎市の里親登録は43世帯とお聞きしております。

以上

質問要旨 尼崎市では里親をいつからどのような方法で啓発する予定か。

答弁要旨

里親に関する啓発につきまして、兵庫県では里親制度に係る説明会の開催のほか、里親募集チラシや啓発グッズを配布するなどの取組を実施しています。

現在、尼崎市では令和8年度の児童相談所の開設に向けて取組を進めており、開設にあわせて里親推進の業務についても兵庫県から事務移管を受けることとなります。

移管に際しては、兵庫県との連携の下、取組をしっかりと引き継ぐとともに、移管の前段階から他都市の取組の研究を重ねるなど効果的な啓発に取り組んでいきたいと考えております。

以上

質問要旨 市内の病院が国の指針どおり、不妊治療を行う夫婦に対して里親という選択肢を提示するためにどのような指導を行うのか。

答弁要旨

議員ご質問の指針につきましては、来年4月に向けて国が策定作業を進めております。

尼崎市としましては、児童相談所の開設後、国の指針に基づき、不妊治療中の夫婦に対して里親の情報提供のため、医療機関と連携して取組を行うこととなります。

その際には、不妊治療中のご夫婦に十分配慮しつつ、里親の裾野が広がる有効な取組について、検討を進めていくことになるものと考えております。

以上